
「転移のない去勢抵抗性前立腺癌の診断と治療についての検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2001年1月1日より2024年4月30日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、去勢抵抗性前立腺癌と診断され、診療を行なわれた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

転移のなくともホルモン治療の効かなくなった去勢抵抗性前立腺癌の5年生存率は50%ほどです。転移のない去勢抵抗性前立腺癌では長生きするだけでなく、転移による症状をなるべく回避することが必要です。現在日本で転移のない去勢抵抗性前立腺癌にたいして使用可能なお薬はドセタキセル、エンザルタミド、アパルタミド、ダロルタミドの4種類で、症例に応じて、薬剤治療単独ではなく前立腺局所治療を含めた集学的治療が検討されます。しかしこれらのお薬の使い分け、局所治療をしたほうが良いのかどうか、行うならばそのタイミングをいつにするかなど、詳しいことはわかっていません。当院の患者さんの治療内容を参照し、最適な治療戦略を考えることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年7月4日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

検査データおよび診療記録等を使用します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者

である北山 沙知が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 北山 沙知（研究代表者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 北山 沙知

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3673（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：転移のない去勢抵抗性前立腺癌の診断と治療についての検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 北山 沙知